

たつき会の取り組み

令和6年4月22日

BLS(一次救命処置)研修

3/22と4/19に東消防署より団員の方をお迎えし、BLS(一次救命処置)研修を行いました。
BLSとはBasic Life Supportの略称で、心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置のことです。

まず始めに団員の方より説明があり、その後一連の流れの確認を行いました。
救急車を呼んで到着までに要する時間は平均約8分と言われているそうです。
その後、3人一組「要救護者を発見する人・AEDを手配する人・119番通報する人」になり実践を行いました。

要救護者を発見する人

心肺蘇生は「早く・強く・絶え間なく」することが必要。
圧迫する深さは乾電池の長さで、声かけを行いながら交代しながら行うといいそうです。

AEDを手配する人

AEDは、音声ガイドに従いながら電極パッドを胸に貼り、必要に応じて電気ショックを行う。
使用する際は必ず、周囲の人へ声かけを行い要救護者から離れてもらうことが必要。

119番通報する人

119番通報をする人は、「現在地・要救護者が今どのような状況にあるのか等の把握を行い」正確に消防署へ情報を伝えることが必要。

研修では役割を決めて実践を行いましたが、BLSは的確にすばやく動くことが必要となる為、日頃からAEDの場所の確認等意識しながら過ごしていきたいと思います。

